

資料の整理をしているとき。2021年5月30日先生宅にて。  
「五体投地」資料が出てきたときの会話の一部です。

先生「うわあ～！これ(懐かしいなあ)…」。

生徒0「(覗き込んで)あ、これは(五体投地で)唱えるマントラですね！」

先生「そうです…」

生徒0「この資料、わたしたちが持っている資料より詳しく、先生方の訳がいっぱい！中村元先生や岸本先生、佐保田先生、田原先生のほかにも！手書きですね～！先生はいっぱいの先生の訳を調べられたのですね！マックスミューラーの訳もあります！」

先生「私は毎朝唱えますよ。

この終わりのところを……観自在菩薩行深般若波羅蜜多時～のね、終わりのところ」

生徒H「そうでらしたのですね。このマントラを…(唱えられるのですね、毎朝に)。」

先生「スヴァハーって、スヴァハーって(笑)」

生徒H「スヴァハーかあ…」「向こうへ(祭祀の火の中へ)、(大願、祈りを)投げ入れるのですね！(jesuschar)。祭祀の時、お花や米を火の中に投げ入れます。」

先生「そう(笑)。」

生徒H「わたしたちは、もらってばかりですね。。。

スヴァハーの心確かに、毎朝に(唱えて)向き合いたい言葉ですね～」

先生 — 間 —

「ここが<薬>だって言うよね。

そこまでの「観自在菩薩～……」は、薬の効用を説明する説明書で、最後のこの、ここがマントラで、薬だって…」

生徒「そこに五体投地では五輪をオリンピックの五輪ではなくて、五輪を投じるのですね…」

生徒0「五輪？」

生徒H「うん。五輪。五つの輪。仏教で五輪は身体五輪。だから肘二つ、膝二つ、額一つを(jesuschar) 象徴にして投地するもの」

先生「体のこと<輪>って言っているんですね。」

生徒0「……」

生徒0「これを読んだらいいよう😊

(本棚から一冊取って『仏教語語源散策』の五輪のページを開け差し出しながら)

生徒0「へえ～。五輪、、、、そなんだあ～。面白～い😊」

ヨーギーの違いを思い高め合いたいと願う集いは、どんな形で集まつても、実に楽しいものです。